

目標達成計画

事業所名 グループホーム西井
 作成日 : 平成 26 年 11 月 30 日
 評価結果
 市町提出日 : 平成 27 年 3 月 31 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議には自治会長、老人クラブ会長、市、包括、家族等が参加しており、偶数月に開催されている。状況報告、行事、研修等の取り組みの報告が多く、参加者からの助言は少ない。	運営推進会議で参加者からの意見や助言をもらうために事前に課題を考え、有意義な会議とする。	「運営推進会議にて外部評価の報告、検討H26.10.22。」 会議議事録の変更。事前に課題の抽出。 検討助言記録を残す。事後確認報告を行う。 実質H27.4.22より	6 か月
2	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	口頭で説明している内容を追記し、家族が事業所の看取りについての考えを理解し、より充実した看取りができるようにする。	重度化・終末期・指針の中の基本姿勢において「グループホームで死が迎え・・・」と明記あることも有り現状このままとする。 但し、H27年度においては看取り介護加算の算定を考えており取り組みを進めていく。 新、重度化対応・終末期(看取り)における対応指針はすでに作成済。	6 か月
3					か月
4					か月